

Tsukuba in Action!

つくば市議会だより

～ 議会をもっとみぢかに～

2026

8.20

No. 192

P01

議会だよりリニューアル こだわりポイント紹介

P03

議決結果一覧

P05

議案審議

P07

一般質問

P14

議会トピックス

表紙写真：科学万博記念公園

発行：つくば市議会 編集：広報広聴委員会

〒305-8555 茨城県つくば市研究学園一丁目1番地1 TEL:029-883-1111(代表) FAX:029-868-7635

議会だよりリニューアル こだわりポイント紹介！

令和8年5月号
から
サイズ・内容を
一新！



こだわり ポイント 1

手に取りやすい
A4 サイズ

サイズ

A4サイズでラックに並べても表紙が見やすく、手に取りやすいサイズに。バッグにもサッとしまえます。

広げても読みやすく、保管もしやすくなりました。



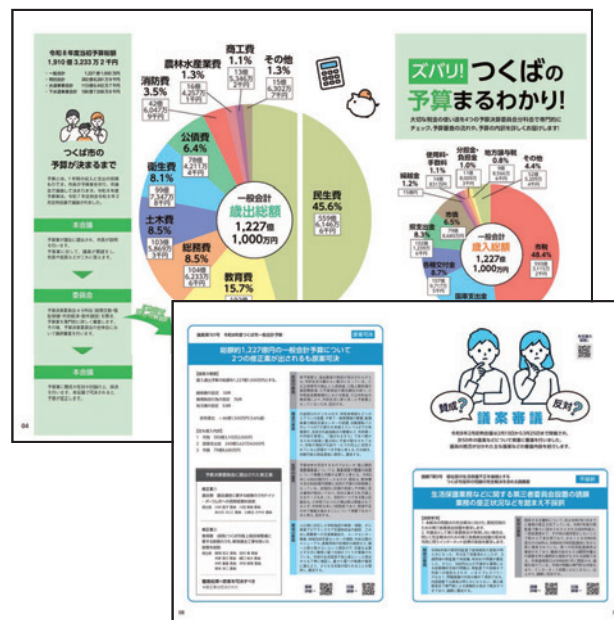
こだわり ポイント2

挿絵を多用 余白を大事に

見やすさ

誌面を見やすくするために、挿絵やグラフを多めに入れる構成にしました。

さらに、1ページの情報を詰め込みすぎず、スペース(余白)を大きくとり、ゆとりあるレイアウトを意識しました。



こだわり ポイント3

議会と議員を もっと身近に

身近に

特集コーナーでは、市民の皆さんと一緒に実施した「議会カフェ」や「夏休み! 議会探検ツアー」などの企画の他、市民の皆さんの関心が高いテーマを取り上げます。

裏表紙には、議員を身近に感じてもらうために、人となりが分かる「一問一答」コーナーを設けました。





令和8年定例会 開会会議 議案等議決結果一覧



←議案の審議状況
議決結果



←意見書一覧

★：賛否が分かれた議案など

議決日

承認第1号 ★1	専決処分事項の承認を求めることについて（専決処分第37号 つくば市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	承認(4/16)
承認第2号	専決処分事項の承認を求めることについて（専決処分第38号 つくば市税条例の一部を改正する条例）	承認(4/16)
議案第1号	つくば市行政組織条例の一部を改正する条例について	原案可決(4/16)
意見書案第1号 ★2	中東地域における武力紛争の平和的解決を求める意見書	原案可決(4/16)



令和8年定例会 6月定例会議 議案等議決結果一覧



←議案の審議状況
議決結果



←請願一覧



←意見書一覧

★：賛否が分かれた議案など

議決日

議案第2号 ★3	令和8年度つくば市一般会計補正予算（第1号）	原案可決(6/26)
議案第3号	令和8年度つくば市水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決(6/26)
議案第4号	つくば市附属機関の設置等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決(6/26)

賛否が分かれた議案など、各議員の判断は？

Next つくば					つくば・市民ネットワーク				公明党つくば			緑	ワ	新	つ	日	創
	中村重雄	木村修寿	塚本洋二	飯岡宏之	川田青星	川村直子	あさのえくこ	小森谷さやか	梅沢尊信	篠内幸代	渡辺峰子	榎原アリーゼ	青木真矢	酒井泉	川久保皆美	山中真弓	高野文男
	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	×	○	×	○
	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○
	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○
	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×

※会派名(議席番号順) 緑＝緑粋会 ワ＝ワニナルつくば 新＝新・つくば民主主義の会
つ＝つくばチェンジチャレンジ 日＝日本共産党つくば 創＝創生クラブ

議案第5号 ★4	つくば市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の全部改正について	原案可決(6/26)
議案第6号 ★4	つくば市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の全部改正について	原案可決(6/26)
議案第7号 ★4	つくば市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の全部改正について	原案可決(6/26)
議案第8号 ★4	つくば市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の全部改正について	原案可決(6/26)
議案第9号	つくば市アフタースクール条例の一部を改正する条例について	原案可決(6/26)
議案第10号	つくば市敬老祝金給付条例の一部を改正する条例について	原案可決(6/26)
議案第11号	つくば市斎場条例の一部を改正する条例について	原案可決(6/26)
議案第12号	つくばアートスタジオたみやま条例について	原案可決(6/26)
議案第13号	市道路線の認定について	原案可決(6/26)
議案第14号	市道路線の廃止について	原案可決(6/26)
議案第15号	市道路線の変更について	原案可決(6/26)
議案第16号	工事請負契約の変更について	原案可決(6/26)
議案第17号	財産の取得について	原案可決(6/26)
議案第18号	つくば市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決(6/26)
議案第19号	財産の取得について	原案可決(6/26)
議案第20号	工事請負契約の締結について	原案可決(6/26)
請願8第1号 ★5	日本人としての誇りと郷土愛を育み、人格形成のための倫理・道徳の教育推進に関する請願書	採択(6/26)
請願8第2号 ★6	第三者委員会の設置を求める請願	不採択(6/26)
意見書案第2号	下水道の維持管理・更新における社会資本整備予算の安定的な確保を求める意見書	原案可決(6/26)

★ 議員賛否一覧

		つくばクラブ								Next つくば			
		伊藤文弥	小村政文	黒田健祐議長	神谷大蔵	小久保貴史	五頭泰誠	木村清隆	塩田尚	田代優	市原琢己	樋口裕大	
開会会議	承認第1号 ★1	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	
	意見書案第1号 ★2	○	○	—	○	○	○	○	○	×	×	×	
6月 定例会議	議案第2号 ★3	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議案第5～8号 ★4	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	
	請願8第1号 ★5	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	
	請願8第2号 ★6	×	×	—	×	×	×	×	×	×	○	×	

※「○」は賛成、「×」は反対。議長は可否同数の場合または特別多数議決の場合以外は表決に加わらない。

※議決日に欠席した議員 なし



本会議の
録画↓



令和8年6月定例会議は6月3日から6月26日まで開催され、
計22件の議案などについて慎重に審議を行いました。
議員の賛否が分かれた主な議案などの審議内容を紹介します。

議案第2号 令和8年度つくば市一般会計補正予算(第1号)

原案可決

予算を3億4,095万円増額補正する議案について 緊急性が高く必要不可欠な予算であるとして原案可決

【議案の概要】

歳入歳出予算を3億4,095万円増額し、総額を
1,230億5,095万円とする。

継続費の変更 1件
債務負担行為の追加 7件
地方債の変更 1件

反対の意見

児童発達支援センター備品購入費や体育館などの空調設備の改修事業など、市民生活の安全向上や教育環境改善経費が盛り込まれており、これ自体に反対するものではない。しかし、当初予算で教育や福祉の予算を削減しておきながら本補正予算で市長の海外出張予算が計上されており、市民理解を得られるものではない。子どもの環境維持よりも、市長の海外出張を優先するような予算編成に賛成できず反対する。

賛成の意見

今回の補正予算における主要な事業としては、現在整備を進めている児童発達支援センターの備品などの購入費や追加支給が決まった生活保護費の増額などである。また、新年度に向けて市民サービスを滞りなく継続実施するための準備として必要な債務負担行為も含まれている。今回提案された補正予算は、緊急性が高く、また、次年度以降の事業が滞りなく実施できるよう準備するための必要不可欠な予算であり、内容についても十分精査されていると考えるため、賛成する。

議案
詳細→



討論
録画→



学校における倫理・道德教育に関する請願について 宗教的中立性などを議論の末、賛成多数で採択

【請願事項】

学校教育の場において、神代からの日本人の歩み及び茨城・つくばの郷土史や偉人の生き方を学ぶ時間を積極的に設け、豊かな人間性と倫理観を育む教育を行うこと。

反対の意見

本請願からは、歴史認識と特定の宗教的価値観を公教育に持ち込もうとする意図が読み取れる。第一に、歴史的事実と神話を混同させる懸念がある。神武天皇による建国は、神話、伝承の領域である。現カリキュラムで郷土史や伝統文化、神話は学んでおり、一部の神話の特出しは、教育現場に混乱をもたらす。第二に、法的な問題である。教育基本法第15条第2項では、「国及び地方公共団体が設置する学校は、特定の宗教のための宗教教育その他宗教的活動をしてはならない」と定められている。特定の宗教的バックグラウンドを学校教育に求めることは、教育現場の教職員に法を犯すリスクを背負わせることになりかねない。第三に、多様性を尊重する教育方針との乖離である。つくば市の学校現場には多くのルーツを持つ子どもたちが在籍している。特定の宗教観で教育や概念の統一を図ろうとする思想は、排他的な教育環境につながる危険性をはらむ。歴史の教訓に学び、公教育の中に特定の思想や宗教を持ち込むべきではなく、反対する。

賛成の意見

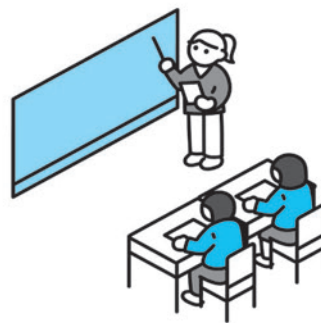
本請願は、日本や郷土の歴史、文化、先人の歩みを学ぶ機会を充実させ、豊かな人間性や倫理観を育む教育を求めるものである。学校教育において、政治的、宗教的中立性が求められることは当然である一方で、日本の歴史や文化、神話や伝承が、日本文化の形成に大きな影響を与えたことがあるのも事実である。歴史教育においては、史実と神話や伝承を適切に区別して学ぶことが重要であり、学ぶこと自体を否定する必要はない。つくば市は、多様な国籍や文化的背景を持つ方々がさまざま暮らすまちであるからこそ、自分の歴史や文化を理解するとともに、お互いの違いを認め合い、尊重し合う姿勢を育むことが重要である。郷土を知ることは、他者への理解や尊重につながる。つくば市や茨城県には多くの歴史や文化的資産があり、それらを学ぶことが地域への愛着、誇りを育み、将来を切り開く力になる。本請願の趣旨は、誰かを排除することではなく、日本や郷土について学ぶ機会を充実させ、豊かな人間性や倫理観を育もうとするものであると理解し、賛成する。

反対の意見

神武天皇は、神話的要素が多く、建国神話、王権神話として理解するのが基本である。神話を読み、知り、日本文化として大切にすることは、国語や歴史、文化学習の範囲と説明できるが、神話を本当の日本の起源、倫理の土台として教育するのは神道的、宗教的な世界観となる。憲法20条第3項には、「国及びその機関は、宗教教育その他いかなる宗教的活動もしてはならない」とあり、それを受け、教育基本法第15条第2項には、「国及び地方公共団体が設置する学校は、特定の宗教のための宗教教育その他宗教的活動をしてはならない」と定められており、神話を歴史的な事実として公教育に取り入れることはできない。明治政府は、天皇を現人神と神聖化し、支配の正当性を神話によって基礎づける教育を始め、その過程で異なる信仰や批判的思考は抑圧され、軍国主義と侵略戦争を支える土壌となった。現在のSNSのスピードと情報量は、選挙制度を揺らがせるほどの力を持ち、慎重にならなければならない。戦争の教訓を生かすべきだ。主権者意識を持った市民を育てることこそ、不確かな時代に求められており、豊かな人間性と倫理観を育むものであると考え、反対する。

賛成の意見

道德心を学校現場で教えてほしいというのが本請願の趣旨だと理解している。外国の文化や伝統を排斥しようとするものではない。不幸な歴史は道德心をなくしたからであり、それを持っていれば踏み外すことはない。この道德心を自分たちがきちんと継承していくと同時に、子どもたちにも、それをきちんと広めていきたい、啓蒙していきたいという気持ちで接すべきだと考えている。日本が誇る道德心を、これからも連綿と続くように私は祈念し、賛成する。



請願
詳細→



討論
録画→





しのうち さちよ
篠内 幸代

公明党つくば



未来へつなぐ平和の心

(質問) つくば市は非核平和都市宣言の下、平和の尊さと核兵器廃絶への願いを発信している一方、世界情勢の変化や戦争体験者の高齢化が進む中、平和の理念を次世代へ継承する取り組みが重要となっている。そこで、以下伺う。①平和事業の現状②宣言の周知・啓発③若い世代への平和継承④学校現場での平和教育⑤平和事業の方向性に関する市長の見解

(答弁) ①平和体験教室や平和記念式典等中学生派遣事業、平和パネル資料展などを実施している。②市HPへの内容掲載や本庁舎宣言掲示板への掲出、市内4カ所への看板設置のほか、市の宣言日の9月27日を含む約1カ月間、本庁舎敷地内に懸垂幕を掲出している。③市内小学5・6年生の希望者への平和体験教室や、市内中学生を市代表の平和大使として被爆地の自治体主催の平和教育プログラムに派遣する平和記念式典等中学生派遣事業を毎年度実施している。④社会科で平和主義の学習やつくばスタイル科で地域の戦争の歴史や遺構を探索する学習があり、戦争に関する地域の慰霊碑などを調べたりするほか、学校によっては戦争体験の語り部の話を聞くなどして、戦争の悲惨さや平和の尊さを学んでいる。⑤つくば市は国際科学都市として、多様性を認め合い、科学技術を平和に利用することを改めて確認する必要がある。提案のあった内容を丁寧に検討し、できる限り実現していきたい。

(意見) 宣言文の掲示や平和月間の設置、平和教育プログラム参加生徒の声の発信など、周知・啓発の強化を提案する。

【その他の質問事項】 認知症の人も家族も安心して暮らせる地域づくり、部活動における移動時の安全対策について



きむら しゅうじ
木村 修寿

Nextつくば



産後ケア事業について

(質問) ①妊娠期から出産後までの支援について、事業内容や課題などについて伺う。②利用しやすくするための取り組みについて伺う。③利用できる施設数の現状と拡大に向けての取り組みについて伺う。④新しい取り組みを行っているか伺う。

(答弁) ①保健師などが面接の上、生後12カ月未満の乳児と、心身の不調などを抱える母親に対し、病院などの施設で心理的ケア、授乳や沐浴などの指導、育児相談などを行っている。施設宿泊の短期入所型、日帰りの通所型個別と通所型集団、自宅訪問の居宅訪問型があり、組み合わせで最大9日間利用できる。必要な方が適切に利用できるよう施設増が課題である。②令和3年度に利用可能日数を7日から9日に拡大した。オンライン面接や訪問対応に加え、令和7年度に申請をオンライン化した。令和8年度からは利用可能期間を産後5カ月未満から産後12カ月未満に拡大した。③現在19施設利用できるほか、居宅訪問型産後ケアを県の助産師会に委託している。近隣の未契約施設に実施をお願いしていく。④令和8年度から生後5カ月未満の乳児と育児不安のある父親を対象に、通所型集団産後ケアを開始した。最大2日まで利用でき、料金は無料である。月齢に応じた抱き方などの指導や育児などの相談、父親同士の交流支援を行っている。家族全体の子育て環境を整え、1人で抱え込まない支援につなげたい。

(要望) 新しい取り組みである父親向けの産後ケアについて、多くの方に利用していただけるよう広く周知を願いたい。施設については、引き続き拡大の取り組みをお願いしたい。

【その他の質問事項】 犯罪被害者支援対策事業

一般質問

令和8年6月定例会議では、6月10日～12日、15日の4日間にわたり、22名の議員が一般質問を行いました。各議員の主な質問と答弁を要約して掲載します。



一般質問 ってなあに？

議員が市長などの執行機関に対して、市政の課題について報告や説明を求めたり、提案などを行う場です。



全ての質問・答弁の内容はどこで見られるの？

各議員の一般質問の会議録と録画配信を市議会HPにてご覧いただけます。

※会議録は散会日の約2か月後に公開





いとう ふみや
伊藤 文弥



つくばクラブ

つくばに合った重層的支援体制

（質問） 複合的な課題を抱える世帯が増える中、令和7年度に本実施された重層的支援体制整備事業について、実施状況や3つの柱である断らない相談支援・参加支援・地域づくりの取り組み、アウトリーチの現状や多機関協働の方向性を確認してきた。地域交流センターの相談事業など、つくば市の豊かな社会資源を生かし、福祉支援センターや地域福祉計画など他の取り組みと関連づけ一体的に進めながら、つくば市に合った体制をどう築いていくのか、考えを伺う。

（答弁） つくば市は重要な施策や計画が重なり合う時期にあり、多様な資源を生かして、つくば市らしい重層的な支援体制をつくるのが極めて重要である。相談体制については、多職種・多分野の関係者が日常的に連携する場を継続的に設けることが必要である。制度の趣旨から考えれば、分野を超えた連携を深める土壌を育てることが重要であり、8050問題、ダブルケア、ヤングケアラー、不登校など、属性や世代を問わない多様な支援ニーズに対応する上で、重層的支援体制事業は非常に有意義だと考える。交流センターの相談機能強化を含め、既存制度にとらわれずに包括的な支援をつくる必要がある。重層的支援体制整備事業を、単独事業ではなく、市全体で一体的に展開し、当事者にとって意味のある支援を実現することで早期相談と継続的なケアにつなげることは、支援側にも受ける側にもメリットがある。しっかりと庁内を挙げて、誰一人取り残さない支援体制を作っていきたい。



あおき しんや
青木 真矢



ワニナルつくば

芸術文化をいかしたまちづくり

（質問） 以下伺う。①「つくば市文化芸術推進基本計画（第2期）」の目指す理想像②つくば市ならではの芸術文化施策として特色ある事業

（答弁） ①芸術文化が市民生活の一部となり、その普遍的な価値を通じて多様性を受け入れ、違いを尊重しながら安心して生活できる持続可能な社会の一助となることである。②科学技術と芸術を融合したメディアアートフェスティバルを展開しており、先端技術を駆使した多様な表現を通じて、見る人に新たな体験や気づきを提供している。また、映像文化普及のため、10分以内の短編映像を対象につくばショートムービーコンペティションを開催しており、若手クリエイターの発掘と育成にも力を入れている。

（質問） 芸術文化施策を通じてソーシャル・インクルージョン（社会的包摂）を実現するための取り組みを伺う。

（答弁） 基本計画で多様性を尊重するまちを掲げ、全ての人にとって芸術文化が身近な環境づくりを目指し、年齢、性別、障害の有無や国籍にかかわらず活動できる環境づくりや多様なニーズに合わせたサービスの提供を進めている。一例として、毎年チャレンジアートフェスティバル in つくばを開催し、障害のある人が制作した作品の展示やダンス、劇などの発表を行っている。

（要望） ソーシャル・インクルージョンを体現する意義は大きい。つくばアートスタジオたみやまを単なる箱物にとどめず、市民とアーティストが日常的に交流し共に芸術文化のストーリーを創る血の通った拠点としての整備を要望する。

【その他の質問事項】 つくば市における地産地消



わたなべ みねこ
渡辺 峰子



公明党つくば

地域防災力の強化について

（質問） 近年、全国各地で地震や豪雨災害が相次ぐ中、通電火災や断水、避難所運営などへの備えの重要性が高まっている。つくば市においても人口増加や高齢化、地域コミュニティの希薄化などの課題がある中、災害時に誰一人取り残さない地域防災体制の構築のため、地域に根差した備えを着実に進めることが重要である。そこで、以下伺う。①自主防災組織支援について②災害時協力井戸登録制度について③感震ブレーカー設置促進について

（答弁） ①地域の防災活動のために住民が自主的に結成し運営する組織であり、ほとんどの場合、区会単位で結成されている。防災および災害対応の共助の役割を担うもので、自分たちの地域は自分たちで守るという意識の下、地域特性を踏まえ、協力し合い、災害被害の予防・軽減のための主体的な取り組みが求められる。②他自治体の導入状況の調査を行い、市で制度を導入する際の懸念点やその対応策を検討している。特に、個人や地域所有の井戸に関する情報の公表に伴う課題や、登録された井戸の維持管理については、慎重に検討した上で制度設計する必要がある。③県の感震ブレーカー設置促進事業の開始は令和8年3月に初めて発表されたため、市で補助金事業を実施する場合、まずは制度設計に向け、事前に認知度や需要などを把握する現況調査を実施する。その結果を踏まえ、補助対象とする感震ブレーカーのタイプや事業に必要な予算額などを検討し、併せて有効性に関する普及啓発も実施し、次年度からの事業開始を目標としたい。

【その他の質問事項】 「生命（いのち）の安全教育」の推進、夏季休業期間中の酷暑対策・食支援



かわくぼ みなみ
川久保 皆実



つくばチェンジチャレンジ

公園遊具充実への対応の進捗は？

（質問） ①『つくば市公園緑地遊具等設置指針』に基づき公園の再整備の優先度が高いとされる学園の森義務教育学校区・みどりの学園義務教育学校区についての対応の進捗状況は？②延床面積100㎡以上の大型複合遊具の設置についての検討状況・候補地の選定期限は？

（答弁） ①令和8年2月に谷田部地区区会連合会研究学園支部懇談会で学園の森義務教育学校区内の遊具設置への市の考えを説明した。出席者の要望を受け、令和8年8月頃までに広く説明会を開催する予定である。みどりの学園義務教育学校区においては、令和8年8月頃までに新遊具を区会などへ提案できるよう取り組んでいる。②設置に伴う公園の利用環境の変化が考えられ、安全確保や財源確保など、多岐にわたる事項を検討した上で候補地を選定する。近年大規模遊具を設置した周辺自治体を調査し、令和8年度内の選定を目指している。

（質問） ①バスケットゴールの新設場所の選定結果と設置スケジュールは？②大池公園以外の公園へのバスケットゴール新設の検討状況・周辺区会などへの説明の実施時期は？

（答弁） ①北条地内の大池公園を最優先候補地とし、令和8年度内の設置工事完了を目指している。②二の宮公園と研究学園駅前公園も候補地として検討している。地元との調整が最重要課題であり、周辺区会などに対して丁寧に説明しながら検討していく。各公園周辺の区会などへの説明は、令和9年度以降の設置に向けて令和8年度内に実施できるように進めたい。

【その他の質問事項】 空き地の樹木による生活環境被害、男女共同参画の推進、市職員の働き方改革



こくぼ たかし
小久保 貴史



南北軸に新たな公共交通を

(質問) ①交通政策について市内の主な渋滞箇所に対する市の取り組みと対応について伺う。②公共交通および自転車環境の整備により自家用車依存を抑制することについて、市の見解を伺う。

(答弁) ①市内の主な渋滞箇所については、国道および県道などの主要な幹線道路の交差点周辺や、沿道に大型商業施設をはじめ店舗などが立地する箇所において渋滞の発生が見られる。対策として、市が実施した渋滞箇所における交通量調査の結果を基に、つくば警察署や茨城県土木土木事務所へ渋滞解消に向けた対策を要望しており、その結果、研究学園駅周辺などの交差点においては、右折矢印信号の設置や信号の表示サイクルの調整および右折レーンの延長などが実施された。今後も引き続き交通状況の把握に努めるとともに、関係機関との連携を図りながら、交通渋滞の緩和に向けた取り組みを進めていく。②市内の自家用車依存については、1世帯当たりの保有台数が平均で1.5台と全国平均を上回っており、市郊外部を中心に自動車の交通手段分担率が高くなっている。市では、新たにバス路線の中でも市内外の拠点を結び、需要の多い区間をサービスの維持・改善に優先的に取り組む公共交通軸として定義したほか、自転車ネットワーク路線の整備を進めるなど、自家用車に依存しないまちを目指す。

(要望) 利用者の多い南北の公共交通軸については、将来的にLRTなど、新たな交通システムも選択肢として捉え、改めて公共交通の将来像を調査・検討するよう求める。

【その他の質問事項】 教育環境



やまなか まゆみ
山中 真弓



教育、保育環境予算早急に増額を

(質問) 令和6年度から令和8年度の消耗品費、図書備品、教材備品予算の減額理由を伺う。

(答弁) 限られた財源の中で、市全体の事業を総合的に調整する過程において、優先順位をつけたためである。

項目	当初予算額(万円)					
	R6	R7	R8	R6	R7	R8
	小学校			中学校		
消耗品費	8,489	8,574	5,168	6,232	6,139	4,274
図書備品	4,031	2,892	1,409	1,991	1,182	587
教材備品	2,352	2,587	1,294	1,350	1,485	816

※答弁内容を基に作成(1万円未満切り捨ての金額)

(質問) つくば市PTA等連絡協議会総会で、予算削減を理由にPTA会費からの援助打診が学校からあった旨の問題提起があった。執行率9割以上にもかかわらず、なぜ予算削減に至ったのか。

(答弁) 財源が厳しく、当初はそのような編成となったが、不足していると考えているし、その場合は補正をして現場が困難にならないようにするのは当然であり、そのように指示している。

(要望) 「優先順位がある」と言うが、子どもたちへの予算削減が市としての優先順位なのか。早急に見直し、教育・保育環境改善のために補正予算での増額を要望する。

【その他の質問事項】 データセンター建設、市内中学校の給食費無償化、つくばまちなかデザイン株式会社、中東情勢緊迫化に伴う市内中小企業者への影響と実態調査について



きむら きよたか
木村 清隆



自転車に関する取り組みについて

(質問) (1)つくば市で、自転車を安全かつ快適に利用できる環境をつくるため制定した「つくば市自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」の運用状況について伺う。(2)2026年4月から導入された自転車への交通反則通告制度に対する、つくば市の取り組みについて伺う。①市民(児童・生徒・成人・高齢者)に対する広報活動および啓発(教育)活動について、②自転車通行空間の整備状況について、③道路や歩道への倒木、枝・雑草の張り出しへの対応状況について

(答弁) (1)本条例に基づき、令和7年3月に策定した「つくば市自転車活用推進計画」では、施策を4つの視点に分け、その1つとして、安全で快適な通行環境整備と自転車の安全利用の推進を掲げている。(2)①広報については、市HPへ掲載するとともに、市広報紙では、交通違反の対象となるながらスマホや並進などを分かりやすく掲載するなど広く周知・啓発を行っている。②自転車通行空間整備については、つくば駅周辺の市道を中心に約5.7kmの自転車専用通行帯とつくば霞ヶ浦りんりんロードへのアクセス路の約12.8kmに、矢羽根などの路面表示を視認しやすい青色表示で整備している。今後の整備についても、警察など関連機関と協議しながら進めていく。③枝葉などの張り出しについては、通行の妨げとなり、緊急な対応を必要とする場合は、街路樹または民地からの枝葉の張り出しにかかわらず、市で剪定などを行っている。さらに、民地からの場合は、所有者に対して適切な管理を要請している。



しおた ひさし
塩田 尚



シェルター確保の現状と見直し

(質問) 政府は有事に備えて、全国の市区町村において、住民の全てが避難できる緊急一時避難施設(シェルター)の確保を目指す方針を打ち出した。つくば市のシェルター確保の現状はどうか?また100%達成できる見通しと、27万人の市民の生命を守るための心構えを伺いたい。

(答弁) つくば市における緊急一時避難施設となるシェルターの現状については、市内全ての小中義務教育学校などの59カ所が指定されている。現時点で、市として全市民に対するカバー率を100%にする見通しは立っていない。市の施設のみでカバー率を100%にするのは極めて困難であることから、国や県、民間が有する施設をシェルターとして活用できるよう、協力を受ける必要があると考える。国・県の施設や民間施設などを含めて、有事の際にシェルターとして活用できる施設をより多く確保できるよう、県と連携して各施設所有者との協議なども進めていきたい。





たしろ ゆう
田代 優

Nextつくば



SSWの役割と周知について

（質問） 不登校や家庭環境など複雑な課題が増える中、スクールソーシャルワーカー（SSW）に相談できることを知らない保護者や市民も多い。保護者・市民への周知状況と今後の広報の取り組みについて伺う。

（答弁） 保護者・市民への周知状況については、学校が保護者に対して発行している学校だよりなどを通じ、周知を図っている。今後の取り組みについては、現在、特定の学校で行っているHPで相談日などの予定を知らせるというような、よい取り組みを他の学校にも紹介し、学校だよりに限ることなく積極的に周知できるよう進める。

（要望） SSWの存在が必要な方に届くよう、認知度の把握と周知の強化を要望する。また、安心して長く活動できる環境づくりも併せて要望する。



つくば・市民ネットワーク



かわだ あおる
川田 青星



つくばの桜が危ない!?

（質問） 市内の道路、公園、教育施設における桜などの樹木について、どのような計画に基づき管理・保全しているのか。

（答弁） 市内の街路樹の維持管理については、令和4年に策定した街路樹の維持管理指針などに基づき、計画的に取り組んでいる。公園については、年度当初にいばらき樹木医会の協力の下、植栽維持管理業者を対象に危険木点検の説明会を実施の上、4月および10月頃に公園維持管理業者による点検を実施している。市立学校における樹木については計画を策定していないが、令和7年度に作成した樹木簡易診断点検表に基づき、各学校が点検を実施している。点検結果を集計し、危険木と思われる樹木については、樹木医による診断を実施しながら管理・保全を進めていく。

（質問） 市内で特定外来生物のクビアカツヤカミキリが確認されているが、どのように対処しているか。

（答弁） 外来生物による被害があった樹木に対しては、状況に応じて伐採する場合もあるが、主に薬剤注入による防除措置を講じ、可能な限り、樹木の保全に努めている。今後も引き続き定期的な点検を実施し、適切な維持管理を徹底していく。

（要望） 市民の協力も必要と考えるため、「いばらきカミキリみつけ隊」を学校でも周知するよう要望する。この問題については市全体で丸となって進めるべき課題であり、各課の横断的な連携と、新しく設置された生物多様性推進室の積極的な役割発揮を期待する。

【その他の質問事項】 太陽光発電の現状と課題、道路の冠水対策



うめざわ たかのぶ
梅沢 尊信

公明党つくば



デジタル依存リスクと通信障害対策

（質問） つくば市はDX推進で市民サービス向上に取り組む一方、全国的な通信障害・システム障害により、住民票発行停止やキャッシュレス決済不能など市民生活への支障が生じている。デジタル化が進むほど依存度も高まるため、障害発生時でも行政機能を継続し、市民サービスを継続できる体制を構築していくことが重要である。通信障害時の行政サービス継続体制・庁内ネットワーク停止時の市民サービス継続への準備状況について伺う。

（答弁） 通信障害などが発生した場合の行政サービス継続体制については、ネットワーク回線事業者の複数化による冗長化やクラウドと本庁舎でのデータのバックアップなどにより、市民の大切な情報を扱う基幹業務システムを継続できる体制を構築している。庁内ネットワークが停止した場合に市民サービスを継続するための準備については、本庁舎に障害が発生した場合でも各窓口センターの業務が継続できるように、基幹業務システムへ直接接続できるバックアップ回線を整備している。また、証明書の発行については、コンビニ交付サービスを活用することにより、市民サービスの継続を図る。



【その他の質問事項】 消防団員の処遇改善に係る対応

Nextつくば



ひぐち ゆうだい
樋口 裕大



学校給食運営における市の課題

（質問） 学校給食運営における市の課題は。

（答弁） 食材価格の高騰が継続しており影響が大きい点と、地産地消推進の中で必要な食材量の確保などが課題である。

（質問） 食材価格高騰が課題とあるが、過去数年間の賄材料費の推移について。

（答弁） 児童生徒増加に伴い提供食数が増加し、令和4年度が約14億9,000万円、令和5年度が約16億2,000万円、令和6年度が約17億9,000万円、令和7年度が約18億円となっている。

（質問） 物価高騰分の公費負担開始時期と負担額の推移を伺う。

（答弁） 物価高騰分については、令和4年度から予算計上しており、令和4年度が約1億2,000万円、令和5年度が約2億円、令和6年度が約3億5,000万円、令和7年度が約4億2,000万円となっている。

（質問） 小中学校給食費の直近改定状況は。

（答弁） 平成26年に改定を行い、小学校1、2年生は4,100円、3年生から6年生は4,300円とし、中学校は4,700円とした。

（質問） 物価高騰が続く中、給食費は10年以上改定されていないことが分かった。今後の給食費改定に対する市の考え方と、改定を検討する予定について伺う。

（答弁） 物価高騰分は保護者に負担を求めず公費で負担することで給食を安定提供する方針であり、現時点で改定予定はない。

（要望） 子どもたちに安全でおいしい給食を提供するためにも、引き続き適切な運営を要望する。

【その他の質問事項】 ナフサ不足における指定ごみ袋



なかむら しげお
中村 重雄



消防団員確保の取り組みについて

（質問） 近年、全国的に消防団員数の減少や高齢化が課題となっており、地域防災力の低下が懸念されている。つくば市においても、団員確保が難しくなっている一方、大規模災害や火災、水害などへの対応力強化が求められている。消防団は、地域住民の生命・財産を守る重要な役割を担っており、持続可能な消防団体制の構築が必要と考える。若年層などの加入促進や処遇改善などに向けた取り組みについて伺う。

（答弁） 若年層や女性消防団員、学生団員の加入促進に向けた現在の取り組みについては、団員募集の案内を区会回覧、市 HP や広報紙に掲載しているほか、国が作成したポスターの掲示や消防団車両にステッカーを貼り付けするなど、随時募集活動を行っている。消防団活動に対する処遇改善や負担軽減への市の考えについては、処遇改善の具体的な取り組みとして、令和5年度から災害時の出勤報酬などの見直しと個人への直接支給を実施した。負担軽減については、転勤や家庭の事情などを配慮し、一定期間活動休止ができる休団制度の導入や、現在使用されている消防車両を運転するための準中型自動車第一種運転免許取得の補助制度を実施するとともに、現行の普通自動車運転免許に対応した3.5t未満の消防車両を順次配備している。

（要望） つくば市広報誌でもこれまでより大きく掲載してほしい。

【その他の質問事項】 火災廃棄物の受け入れおよび支援体制、ライドシェアの運用状況



たかの ふみお
高野 文男



市街化調整区域における大規模開発

（質問） 市街化調整区域で条件を満たす企業立地の可能性、牛久沼エリアでの滞在型市民農園などの整備、さらに6号バイパス開通による土地利用の可能性について伺ってきたが、今後の荳崎地域の将来像について市長の考えを伺う。

（答弁） 荳崎地区は、牛久沼を中心とした観光レクリエーションエリアと、周辺の豊かな自然や農地との調和が保たれた南の玄関口であり、つくば市を訪れる人にとっても非常に有意義な価値を持つ場所であり、土地活用の余地もある場所であると考えている。産業面、雇用面、地域の発展、観光といった分野の余地を考えれば、荳崎地区の発展可能性は大いにあると思っている。いろいろな意見をいただき、対話をしながらその可能性について模索をしていきたい。

（要望） 人口減少、農業の担い手不足、耕作放棄地の増加、森林の荒廃など課題が深刻化する中、地域の価値を高める土地利用方針を示していただきたい。



【その他の質問事項】 投票所の変更および再変更



かわむら なおこ
川村 直子



「公共施設予約システム」改善を!

（質問） インターネットによる地域交流センターやスポーツ施設の予約システムは、Web画面上の構成の問題などで使いづらく、改善を求める声が多い。システムは現在改修中であり、①今後のスケジュール、②課題の改善策について伺う。

（答弁） ①公募型プロポーザルにより選定した会社と令和8年4月1日に委託契約を締結し、システムの初期構築を進めており、本稼働は9月1日を予定している。②現行のシステムは、仮予約まではオンライン対応しているが、本予約や利用料金の支払いに平日日中の来館が必要であり、改善を求める声が多く寄せられている。新システムでは、本予約から支払いまでオンライン上で完結できる仕組みを導入する。また、予約システムのユーザーインターフェースを改善し、視認性や操作性を向上させ、直感的に利用できる環境を整備するとともに、施設窓口業務の効率化を図る。

（質問） 新たにネット予約できるようになる予定の施設を伺う。

（答弁） 現行システム登録の64施設に加え、洞峰公園を含む公園5施設とみどりのプールを追加し、合計70施設を予定している。

（質問） ふれあいプラザでは空き状況検索もいまだ電話対応のみである。市の予約システム改修に合わせ、ふれあいプラザの予約方法も改善してほしいが、いかがか。

（答弁） 現在、指定管理者が管理運営するHP上に空き状況を確認できる機能がないため、速やかに当該機能を追加する。また、公共施設予約システムの導入も検討し、サービスの向上を図る。

【その他の質問事項】 学校におけるいじめへの対応、性の多様性のさらなる理解促進



あさの えくこ



生活保護への「誤解」を解くために

（質問） 生活保護を受給するための扶養照会（親族への問い合わせ）に抵抗がある人が半数以上というデータがある。扶養照会を望まない場合の対応を伺う。

（答弁） 扶養照会は原則実施するが、扶養義務者との関係性を丁寧に聞き取り、当該扶養義務者への直接照会が適当でない場合や扶養義務の履行が期待できないと判断される場合は、実施しない場合がある。扶養照会に当たっては、生活保護制度の趣旨を理解してもらえるよう、より丁寧に説明をしていく。

（質問） 自家用車の保有について伺う。

（答弁） 車種に限らず認められていないが、例外的に保有が認められる場合もある。保有要件は、自動車による通勤がやむを得ないものであり、かつ就労が自立のために役立っていると認められること、処分価値が小さく通勤に必要な範囲の自動車であること、勤務で得られる収入が維持費を大きく上回ることなどがある。なお、個々の事情によっては、県や国に照会する場合もある。

（質問） つくば市には独自の生活保護のしおりがなく、茨城県のしおりは分かりづらい。市民に寄り添ったしおり作成の予定を伺う。

（答弁） 他市事例を踏まえ、市独自のしおり作成を検討する。

（質問） 生活保護への偏見を解くために、市長自らSNSなどで発信していただきたいと考えるがいかがか。

（答弁） 生活保護も受給というより利用という概念に変わるべきと考えている。発信で効果があれば積極的に行っていきたい。

【その他の質問事項】 つくば市立幼稚園の役割と今後



こもりや
小森谷 さやか



RSウイルス母子ワクチンと早産

（質問） このワクチンは、日本で初めて妊婦が赤ちゃんのために接種する定期接種ワクチンだ。アメリカ、フランスは潜在的な早産リスクがあるとして妊娠28～32週の妊婦を対象から外したが、日本では対象としている。また、治験は単胎妊婦のみで行っており、双子以上の多胎妊娠は通常でも早産リスクが高いのに注意喚起されていない。市のお知らせには書き込むべきだが見解を伺う。

（答弁） 国の審議会では、専門家による詳細な評価の結果、現時点では重大な安全性上の懸念は認められていないとの報告があるため、市では重大なリスクとして周知はしていない。

（質問） 市長の見解を伺う。

（答弁） 定期接種は、財政負担は大きい、予防接種全般は社会的意義があり、必要な接種は受けていただくべきと考える一方で、新たに定期化、認可されるものは、メリットとリスクを示した上で判断いただくことは重要である。これまでも市は情報提供の上で判断いただくスタンスであり、RSウイルスワクチンもリスク提示は必要と考えるが、国が示す以上の知見は持たず、現状の表現か、国のファクトシートで示される部分が限界と考えるが、情報提供の上で判断してもらうことは、大事なスタンスと考える。

（意見） 接種者にリスクを周知すべきだ。

国立健康危機管理研究機構 感染症情報提供サイト
「RSウイルス母子免疫ワクチンと抗体製剤ファクトシート」



【その他の質問事項】 データセンターに関する諸課題への対応、つくば市の生物多様性に関する施策の推進



さかい いずみ
酒井 泉



新・つくば民主主義の会

巨大データセンターは市民のため？

（質問） 議会の提言書にデータセンターの記載はない。市の土地利用方針に適合すると記載したのは市である。市にその理由を聞いている。

（答弁） 令和3年度のサウンディング型市場調査の結果から、提言で示された望ましい施設の役割・機能に適合する施設としてデータセンター、物流施設がそれぞれ含まれており、優先順位は高い施設となっている。

（質問） 高エネ研南側未利用地の一括売却では、市民のための施設を造ると市は説明した。土地利用の9割はデータセンターであり、豊かな自然環境と関係ないと思うが。表*を見て答えてほしい。

（答弁） 高エネ研南側未利用地に関する調査特別委員会からも提言で示された望ましい施設の役割・機能ということで、豊かな自然環境、幅広い分野の研究機関や人材の集積などの最先端の取り組みに代表されるつくばならではの資源・特性を生かせるものとして、右側に示している施設を挙げている。



※表：つくば市HP「高エネ研南側未利用地土地利用方針」6ページの表

（意見） 市の土地利用方針に合致しない。データセンターがなぜつくばの自然環境や研究機関と人材の集積、観光や産業に寄与するのかかわからない。

【その他の質問事項】 屋根のあるアリーナ建設の必要性、現在計画の陸上競技場の必要性と立地条件



いちはら たくみ
市原 琢己



データセンターの環境影響

（質問） データセンターについて、最大電力需要量を伺う。

（答弁） 事業者からの報告によると、高エネ研南側用地に建設中の1棟目のデータセンターは50MW、敷地全体では最大1,000MWの受電容量とのことである。

（質問） 以下の環境への懸念に関して、グッドマンジャパンと土地売買契約までに文書で評価を行ったか伺う。①排熱によるヒートアイランド、気温上昇②非常用発電機による排ガス、窒素酸化物（NO_x）、PM2.5、大気汚染リスク③騒音、照明による光害④電磁波による健康影響⑤水冷設備導入時の地下水・水循環への影響

（答弁） 周辺環境に関する影響について、土地売買契約前に文書で確認したものはない。



【その他の質問事項】 高校への進学、部活動の地域移行



いいおか ひろゆき
飯岡 宏之



Nextつくば

データセンターと環境保全協定

（質問） 市が売却・許可した土地に、国内最大級のデータセンターが立地する。市は2030年度のCO₂排出量を2013年度比46%削減を掲げ脱炭素先行地域にも選択される一方、電力消費とCO₂排出は市全体の削減努力を左右しかねない。市民に節電を求めながら最大の排出源に実効策を課さなければ公平性を欠く。

①電力使用量や再生可能エネルギーの実調達状況、CO₂排出量など環境データの定期報告と、②数値基準を伴う環境保全協定を稼働前に締結する考えを伺う。

（答弁） ①省エネ法*の中に報告をする義務というものがある。実際に稼働することにより毎年度報告されることになり、ウェブサイトで公表される状況になるため、注視していきたい。②住民が安心できるように、必ず稼働前にそのような協定を結んで、それをきちんと地域にも示していきたい。

※省エネ法：エネルギーの使用の合理化及び非化石エネルギーへの転換等に関する法律



議会だより リニューアル裏話

議会だよりの編集を担う広報広聴委員会のメンバーに聞きました！

川久保皆実 委員長

広報広聴委員長に就任した際、黒田議長から「思いっきりやってください！」と激励いただき、市議会だよりのリニューアルを目指そうと決意しました。
最高のメンバーに恵まれ、任期中に無事実現できて感無量です！

青木真矢 副委員長

新人ながら副委員長を拝命し、これまでのクリエイティブ経験をリニューアルのデザインと構成に生かしたことを嬉しく思います。余白を効果的に使い、見やすさを最重要視したレイアウトにこだわって仕上げました。

川田青星 委員

議会って何をしているところなんだろう？そんな方にも議会を身近に感じてもらえるよう、抜本的なリニューアルに至りました！議会の議論内容や常任委員会の活動、議員の人となりをぜひ知ってもらえれば幸いです！

梅沢尊信 委員

視察で訪れた埼玉県小川町議会では、議員一人ひとりの広報に対する熱意と市民への思いに深く感銘を受けました。その経験が、議会だより刷新への大きな原動力となりました。手に取りやすい広報誌を目指しました。

小村政文 委員

歴代の広報広聴委員会から身近で手に取りたくなる議会だよりにするべく、全国の議会だよりを読み比べたり、視察で他市町村の編集体制を学んだりと試行錯誤が続いてきました。これからも応援よろしくお願いします！

中村重雄 委員

委員会の中で私自身が最高齢であることに驚きましたが、毎回意見が激しくぶつかり合う中、その経験を生かして議論に貢献してまいります。分かりやすい情報発信と広聴活動に努め、市民と議会をつなぐ架け橋として尽力します^_^

山中真弓 委員

高根沢町での視察の際、私の地元の隣町でもあったため、視察対応の議員が私の両親の知り合いでビックリ！！(*o*)70歳超えのパワフルな議員が熱い思いで議会の広報広聴活動をしている姿にエネルギーをもらいました！

小森谷さやか 委員

初めて広報広聴委員を拝命してから10年経ちます。当初は「タブロイド判が良い」という意見が多く、大胆な変更はできませんでした。今回は思い切ったリニューアルをしました。読みやすい紙面づくりを頑張ります！

Topics 2

児童館の休日開放の取り組みについて所管事務調査を実施！

令和8年7月4日に福祉保健委員会が大曾根児童館を訪問し、児童館の休日開放の取り組みについて所管事務調査を行いました。

所管事務調査とは、常任委員会が自主的にその所管する事務について行う調査です。



Topics 3

表彰伝達式を行いました

飯岡宏之議員が、市議会議員として25年にわたり市政の発展に尽くした功績により、全国および茨城県の市議会議長会から特別表彰を受けました。



ちょっと気になる、議会のハナシ 議会トピックス

Topics 1

議会運営委員会の行政視察を行いました

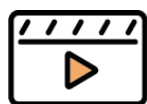
議会運営委員会は、令和8年5月19日から21日に、議会改革の先進的な取り組みを行っている他市町議会への視察研修を実施しました。

埼玉県戸田市議会では、常任委員会で年間活動テーマを決めて調査研究する取り組みについて、北海道苫小牧市議会では、議会への市民参加の機会拡充の取り組みについて、北海道栗山町議会では、全国初の議会基本条例の制定から20年経過した今後の取り組みなどを視察しました。

今回の視察で得た知見を、市民の皆様に分かれた、より円滑な議会運営の実現に向けて活用してまいります。



北海道苫小牧市議会議場にて



動画配信中！

つくば市議会
チャンネル



チャンネル
登録をお願い
します

議会だよりはオンラインでも
ご覧いただけます（発行日に公開）

改善アイデアを募集中！

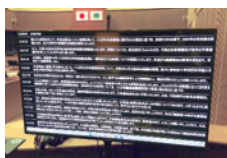


傍聴のご案内

つくば市議会の本会議と委員会は公開されており、誰でも傍聴することができます。議会の傍聴にぜひお越しください。

発言内容表示ディスプレイを傍聴席の右側前方に設置しています。

手話通訳・要約筆記をご希望の方は傍聴予定日の7日前までに議会局へお申し込みください。



傍聴についてのご相談は議会局にご連絡ください。

議会局 議会総務課

電話 029-883-1111（内線 6111～6114）

FAX 029-868-7635

傍聴の案内



本会議は生中継・録画映像を、委員会は録画映像をご覧いただけます。

映像配信



9月定例会議スケジュール

日	月	火	水	木	金	土
8/30	31	9/1	2 議案上程 10:00～	3	4	5
6	7	8	9 一般質問 10:00～	10 一般質問 10:00～	11 一般質問 10:00～	12
13	14 一般質問 総括質疑 10:00～	15	16 委員会 総福 9:00～	17 委員会 市都 9:00～	18 委員会 総福 9:00～	19
20	21	22	23	24 委員会 市都 9:00～	25	26
27	28	29	30	10/1 予算決算委員会 10:00～	2	3
4	5	6 討論・採決 10:00～	7	8	9	10

総 総務文教 福 福祉保健 市 市民経済 都 都市建設

※開始時刻は変更される場合があります。市議会HPをご確認ください。

議員をもっとみぢかに!

一問一答

夏休みの思い出



五頭 泰誠
(つくばクラブ)

宿題が溜まってしまって、母親からだいが怒られた記憶しかありません。



山中 真弓
(日本共産党つくば)

学校プールに暑い中はほぼ毎日友達と通って、ハンコをもらうのが夏休みの宿題だったな～。



酒井 泉
(新・つくば民主主義の会)

夏山の星空、天の川。木陰を飛ぶカラスアゲハ、オニヤンマの哨戒飛行、水辺を飛翔するギンヤンマ、蟬の声。



木村 清隆
(つくばクラブ)

毎週のようにバスで地元の大学に通い、大学のサッカー部の方々と一緒にボールを追いかけたサッカー少年の日々です。



小森谷 さやか
(つくば・市民ネットワーク)

海無し県の群馬で育ったのでたまに行ける海水浴に夢中でした。飽きもせず海底を眺め、1日中海に浸っていました。



小村 政文
(つくばクラブ)

祖父とオニヤンマを獲ったことです。毎日野山を駆け巡って遊びまくり、後回しになる宿題の山も思い出です。



伊藤 文弥
(つくばクラブ)

少年野球の試合でいろんな場所に行ったことです。仲間と一緒に連れて行ってもらえるのが嬉しくて夏が楽しみでした。



川田 青星
(つくば・市民ネットワーク)

つくばびっこ博士のパスポートを手に、市内の研究機関を巡ったことです。今思えばとても恵まれた環境でした。



木村 修寿
(Nextつくば)

家族で北海道へ出かけたこと。



高野 文男
(創生クラブ)

周囲にスイカ畑が多くあり、夏になると行く先々でスイカを頂いたのですが、スイカの種に苦慮しスイカ嫌いになった。



川久保 皆実
(つくばチェンジチャレンジ)

親が共働きだったため、夏休みは児童館で遊んで過ごしていました。特にトランプゲームの「大富豪」に夢中でした。



梅沢 尊信
(公明党つくば)

昆虫採集に走り回った夏です。蜂、ムカデがいたり、クワガタかと思ったら、ゴキブリだったり、楽しい思い出です。



榊原 アリーゼ
(緑粋会)

木の香漂う祖父の工房、祖母と歩いた夏祭りの宵。あの夏の面影はいまも胸に宿ります。



塚本 洋二
(Nextつくば)

地区子ども会対抗ソフトボール大会。



黒田 健祐
(つくばクラブ)

小学生の時ラジオ体操後、鬼ごっこなどをやっていたのが思い出です。



川村 直子
(つくば・市民ネットワーク)

新潟市の実家は海の手すぐそば。弟やいとこ達とうちから水着で毎日毎日泳ぎに行き、夏休みは日焼けして真っ黒でした。



青木 真矢
(ワニナルつくば)

家族で訪れた海水浴です。思いっきり海で遊び、夜には花火大会が開催され、夏を感じる一日を過ごした思い出です。



田代 優
(Nextつくば)

曾祖父と田んぼに行ったり、家族でスイカを食べた夏休みが思い出です。



飯岡 宏之
(Nextつくば)

川遊びやメンコ、虫取りなどをして、友だちと朝から夕方暗くなるまで思いっきり遊んだことです。



神谷 大蔵
(つくばクラブ)

毎朝行われるラジオ体操、今では考えられない涼しい朝、体操後の洞窟探検や山登り、素敵な思い出です。



中村 重雄
(Nextつくば)

母の実家で、姉と従兄弟とスイカ割りやかくれんぼをして遊んだのが懐かしいです。



篠内 幸代
(公明党つくば)

毎年家族で大洗の海へ行き、思い切り遊んだ後に食べた海の家ラーメンや、楽しいお土産選びが心に残っています。



市原 琢己
(Nextつくば)

旅行です。



塩田 尚
(つくばクラブ)

毎日小学校のプールで泳ぎまくった後、家の柿の木の下ハンモックで昼寝をする。あの至福の時間が一番の宝物です。



小久保 貴史
(つくばクラブ)

初めて兄弟で今はなき鉄路を乗り継ぎ、叔父の家を訪ねた夏。小さな冒険に胸を膨らませた思い出です。



あさの えくこ
(つくば・市民ネットワーク)

祖母の家で毎晩蛭を採ってカゴごと蚊帳の中に入れていたのに、朝になるといなくなっていた。祖母が逃していたらしい。



渡辺 峰子
(公明党つくば)

毎夏、銚子にある祖父母の家で過ごしました。毎日、海に入り、日焼けで真っ黒でした。



樋口 裕大
(Nextつくば)

朝のラジオ体操、昼はプール、夜は花火。何気ない一日が今も心に残る大切な夏の記憶です。